工賃向上計画書　参考様式（就継Ｂ　通期用）

作成日：令和　7　年　4　月　1　日

令和　7　年度　工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房Ｉ				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（令和　5　年度）実績				前年度（令和　6　年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	12,642	14,995	13,779	月額	13,524	17,144	15,312
	時間額	127	154	140	時間額	139	173	156
平均工賃の目標	今年度（令和　7　年度）目標				令和　7　年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R　8　年	R　9　年	R　10　年
	月額	13, 612	18, 348	16, 000	月額	16,500	17, 000	17, 500
	時間額	137	180	158	時間額	162	167	172

前々年度と比較した前年度の工賃支給状況				
支払総額		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
延べ工賃支払対象者数		（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（○）減少傾向
延べ勤務時間数		（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（○）減少傾向
平均工賃	月額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	時間額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向

前年度の作業種目及び収入実績			
作業種目	前年度収入額	割合	傾向
受託加工	1, 363　千円	14　%	減少傾向
自主製造・販売	8, 140　千円	82　%	減少傾向
仕入・販売	千円	%	
飲食	180　千円	2　%	増加傾向
サービス	千円	%	
役務（清掃等）	167　千円	2　%	増加傾向
他（　　）	千円	%	
合計	9, 852　千円	100　%	

前年度に工賃向　上に効果を上げ　た具体的な事項	原材料が高騰したため原価計算を徹底した。原価率いい商品を増やし、原価高い商品を減らす、無くした。外部販売時の売れ行きを管理し販売商品を整理した。地域との交流が増え外に出る機会が増えた。
工賃向上のため　にクリアーしな　ければならない　課題事項　（複数回答可）	（　）販売品に魅力がない　（　）販売品種が少ない （○）販売先が限られている　（　）立地条件が悪い （　）受注単価が安い　（　）多量の注文が受けられない （　）他事業所とのネットワークがない （○）職員の作業負荷増大　（　）利用者の作業負荷増大 （　）職員のコンセンサス　（○）利用者特性 （　）その他（　）
工賃向上のために優先的にクリアーしなければならない課題の具体的な内容と対応策	原材料高騰に対する原価計算。 魅力的な商品作成。 職員だけでなく利用者も参加する内職を強化する。スキルを上げる。 店頭などポップ、看板を工夫しアピールする。 自主製品も季節を意識し、定番商品を継続して作成する。
今年度計画し　ている改善策（複数回答可）	（○）品質の向上　（　）販路開拓　（○）新商品開発 （　）他事業所とのネットワーク化　（　）内部努力 （　）作業種目の見直し　（　）職員の意識啓発 （　）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （　）その他（　）
今年度計画している改善策の具体的な内容	原価計算の整理。 利用者とのパン会議を活発化し新商品提案。 利用者のできることを増やし内職の受託の拡大 SNSを利用し自主製品を知ってもらい販売増。